

第1学年 音楽科学習指導案

期 日 平成27年10月1日(金)

授業者 教諭 齊藤 とよ子

学 級 1年1組 男子13名、女子16名、計29名

- 1 題材名 郷土の音楽に親しもう 教育芸術社 中学生の音楽1 p46
教材名 岩手県の民謡「南部牛追い唄」

2 題材について

(1) 教材観

本題材は、学習指導要領に示された指導事項のうち、以下の内容についての指導を行うものである。

<第1学年> 2 内容

B鑑賞 (1)イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連づけて理解して鑑賞すること。
A表現 (1)イ 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。
[共通事項] (1)ア 音楽を形づくっている要素のうち「音色」「リズム」「旋律」や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。

B鑑賞(1)の指導事項では、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連づけて理解して、鑑賞する能力を高めることをねらいとしている。その中で郷土に伝わる民謡に焦点をあてる。その特徴を生み出し、はぐくんできた人々や文化的社会的背景などにも目を向け、指導アと関連させて、生徒の興味関心意欲を引き出しながら、主体的に鑑賞できるように工夫したい。

A表現(1)では、民謡独特の発声を体験する事に重点をおく。本題材では、郷土に伝わる民謡が、明るく響きのある地声で八木節様式や追分様式で歌われることを知ったり、その地方の歴史や文化、生活と深く関わり合いながら生まれてきたことを知ったりして鑑賞することで、日本の民謡に親しむ態度を育てることをねらいとしている。また、共通事項のうち、音色(地声の音色)、リズム(拍にのってはっきりとしたリズムで進んで行くタイプ・拍を感じさせずに音を引き延ばしながら進んで行くタイプ)、旋律(コブシ)を扱う。

(2) 生徒像

本学級の生徒の日本の伝統的な音楽に関する学習は5、6年生で「和楽器の音楽を含めた我が国の音楽や諸外国の音楽など文化とのかかわりを感じ取りやすい音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲」を取り扱うことになっている。中学校では、日本の伝統的な音楽に関する鑑賞や歌唱を取り扱うのは初めてである。1学期には「魔王」の学習をしており、リートの歌い方を鑑賞している。

夏休みの宿題として「日本の民謡調べ」に取り組んでいて、地元岩手県を調べてきた生徒

が 44 %であった。このことから少なからず郷土に愛着を持っていることが感じ取られた。その後に行ったアンケートでも、日本の伝統的な音楽に興味がある生徒は「とてもある」「少しある」を合わせて 62 %、民謡を歌ったことがある生徒は 45 %であった。郷土の民謡に触れる機会が少なく興味は低いものと考えていたが、小学校の学習発表会で「ソーラン節」に取り組んだり、「チャグチャグ馬コ」が学校を訪問した際に馬に乗せてもらった経験等もあり、思いのほか興味は高かった。本時取り上げる「南部牛追い唄」は、岩手の代表的な民謡であり、背景を知ることによって生徒には親しみが持てると思われる。本題材では、民謡独特の節回しを体験する活動を取り入れながら、その教材性に着目し、題材の目標に迫りたい。

(3) 指導観

生徒は、日本各地の民謡をただ鑑賞しても、どこをどのように聴き取ったらいよいのかわからず、その音楽のよさなどを十分に味わうことはできないものと考えられる。そこで聴き取る観点を明確に示し、どのような点がどのように演奏されているか、またどのような場面で演奏されているのかなどの背景を理解しながら鑑賞することが大切だと考える。更に鑑賞活動から発展させ、日本の民謡の歌い方（地声発声）や節回しでゲストティーチャーに歌ってもらおう。現在取り組んでいる合唱曲の歌い方（頭声発声）との違いに気づかせることで民謡の歌い方の特徴をとらえる。次に「南部牛追い唄」の伸ばし方や節回しに挑戦させたい。参考プリントを見ながら生徒に歌ってもらおう。実際に民謡を歌ってみることによって民謡を身近なものとして親しませるとともに、民謡の持つ良さや美しさを感じ取らせたい。

3 題材の目標

- (1) 日本の民謡の特徴に関心をもち、音色、節回し、拍感を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、主体的に民謡を歌唱したり鑑賞したりする。
- (2) 民謡にふさわしい声、言葉の発音、身体の使い方などを追求し、創意工夫をして歌唱する。

4 題材の評価規準

評 価 規 準			
ア 音楽への感心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
①日本各地に伝わる民謡に興味を持ち、どのような背景があるのかわかり、その音楽の特徴と関連づけて考え、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ②民謡にふさわしい声や歌い方の特性に関心を持ち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①民謡の歌声・節回し・拍感などにそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、民謡にふさわしい発声やコブシの付け方などを理解して、それらを生かした音楽表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図を持っている。	①民謡にふさわしい声や言葉の特性をまねし、それを生かした音楽表現をするために必要な発声・コブシの付け方・身体の使い方などを生かして歌っている。	①民謡の背景を知り、声の出し方・歌い方・コブシのつけかた、拍のとりかたなどを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形作っている要素と特徴とが関連していることを理解して味わって聴いている。

5 指導と評価計画（全2時間）

時	指導計画	評価規準
1次 (1時間)	①夏休みに調べてきた民謡を発表し合う。(県別に分類) ②民謡が歌われる生活や背景などを見つけ、どんなところから民謡が生まれるか考える。(仕事歌や祝い歌、子守歌等に分類) ③拍をはっきり刻んでいる民謡と自由に伸ばしている民謡の違いを聴き取る。◇歌の節と節の間にかけて声などをしている人がいる。「合いの手」を確認する。) ◇声を揺らして伸ばしている。「コブシ」を確認する。)	ア エ
2次 (1時間)	①1時間目で見つけた楽曲の特徴などを再認識する。 ②「南部牛追い唄」の歌詞の内容を知る。 ③ゲストティーチャーの模範演奏「南部牛追い唄」を聴き、音色・リズム・旋律の歌い方の特徴を見つける。 ④本物の民謡の味わいが生まれるよう声の伸ばし方や揺れに着目してペアで工夫しながら歌う。最後には全員で民謡の良さを味わいながら歌う。	ア イ ウ

6 本時の展開

(1) 目標

音色・リズム・旋律の特徴を生かして「南部牛追い唄」を歌う事ができる。

(2) 予想されるつまづきと対処法

①拍そのものの意味がわからない。忘れた。

→・前時の復習をして、手拍子ができる。(拍がある) 手拍子ができない。自由に伸ばしている。(拍がない) の違いを確認する。

②声の出し方(発声)について、どのようにすればいいかわからない。

→・普段話をしたり、呼びかけたりする声の出し方を大きくして響かせればよいことを知らせる。(地声であることがわかるようにする。)

・ゲストティーチャーの生の声を実際に聴いてまねしてみる。

・母音をはっきり発音し、声を鼻のほうへも響かせるというコツを教え、上手く出来ている生徒を指名して手本として歌ってもらう。

③「こぶし」をつける箇所がよくわからない。

→・母音につけること、母音を強調してのばすようにするところを学習プリントを参考に歌って見つける。

・ペアで声を伸ばしたり揺らしたりする部分をお互いに指で表してみよう。

(3) 展開 (第2時)

時間	学習活動 「主な発問・指示」	生徒の活動 (◇) 「予想される生徒の反応」	留意点・評価 (○) UDの視点による手立て(★)
5分	<p>1. 民謡の種類について</p> <p>ア「南部牛追い唄は、どの種類にあてはまったか。」</p> <p>イ「誰が(どんな人が)歌っていたか。何人で?」</p> <p>ウ「どこで歌われていたか。」</p> <p>エ「牛は何を積んでいたか。」</p> <p>2. 民謡のタイプについて</p> <p>・「南部牛追い唄は、拍が刻まれている、いないどちらのタイプだったか。」</p>	<p>1◇前時を振り返り発言する。</p> <p>ア「仕事歌」</p> <p>イ「牛方・1人」</p> <p>ウ「山の中」</p> <p>エ「塩」「米」「海産物」「炭」など</p> <p>2◇「南部牛追い唄」が手拍子できない(拍がはっきり刻まれていない)タイプだったことを確認する。</p>	<p>1○★仕事歌・祝い歌・踊り歌・座敷歌・子守歌のカードをボードにはっておく。他板書(視覚化)</p> <p>2○「ソーラン節」を引き合いに出して、手拍子ができるタイプとできないタイプがあることを思い出させる。(スパイラル化)○民謡のタイプが特徴の1つであることを課題につなげる。★課題を立てる。(焦点化)□板書・特徴①拍が刻まれない。</p>
35分	<p>3. 鑑賞(GT)</p> <p>「南部牛追い唄を聴いて、音色・伸ばし方についてわかった事を発表しよう。」</p> <p>4. 特徴をつかんで歌う</p> <p>「ペアで工夫して歌うところを決めよう。」</p> <p>「どのように歌ったらよいか考えて記入しよう。」</p> <p>「代表でAさんペアに歌ってもらおう。」</p> <p>「どのように歌おうと思いましたが。」</p>	<p>3◇メモをとる。</p> <p>◇発表する。「声がときどき揺れる。」</p> <p>「ゆったりとしていて音が長く伸びている。」</p> <p>「声がびーんと張って響いている。」</p> <p>(座席を前に移動する。)</p> <p>4◇ペアで相談して工夫する箇所を2カ所決める。</p> <p>◇ペアになって「田舎なれどもサーハエ南部の国はさ」を交代で歌ってみる。聴く方が指を回したり、上下に伸ばしたりする。</p> <p>◇指名されたペアが発表する。</p> <p>「声を回すようにした。」</p> <p>「音を上げたり下げたりすることを繰り返した。」</p> <p>「母音を強調するようにした。」</p>	<p>3○学習プリント</p> <p>・声の出し方(音色)、伸ばし方(旋律)についてメモする。</p> <p>○机間巡視</p> <p>★実演～唄と尺人(視覚化)</p> <p>□板書・特徴②声を揺らす</p> <p>・特徴③地声で響く</p> <p>4○GTは回ってアドバイスする。★いきなり歌うのは難しいので指を回したり伸ばしたりすることで特徴を意識させる。(スモールステップ化)</p> <p>★ペア活動(共有化)</p> <p>★板書・代表生徒がどこを工夫したのかわかるようにする。(視覚化)</p>
10分	<p>5. 本時のまとめ</p> <p>・「1番を全員で歌おう。」</p> <p>・「民謡の学習から学んだ事を記入しよう。」</p> <p>・「発表しよう。」</p>	<p>5◇GTと一緒に一番を通して全員で歌う。</p> <p>◇民謡の学習から学んだ事を学習プリントに記入する。</p> <p>◇発表する「声の出し方が地声でよく響く。」</p> <p>「伸ばすときにこぶしを使っていた。」</p> <p>「その土地の良さが歌われていた。」</p>	<p>5★全員で歌ってみる。(共有化)</p> <p>○GTの話から「風土に合った音色」を知る。□板書・特徴④風土に合った音色</p> <p>★学んだ事を記入し発表する。(焦点化)</p>

◆明確な授業のゴール

「南部牛追い歌」の背景などを再認識した後、ゲストリーダーチャーターが歌う民謡の歌い方をよく聴き、「南部牛追い歌」の特徴的な歌い方を「地声発声」・「こぶし」・「無拍節」の3点についてとらえる。ペアで特に工夫して歌う箇所を2カ所決めて民謡の味わいが出せるように練習する。最終的にゲストリーダーチャーターと一緒に歌うことで民謡の良さや美しさを感じ取ることができる。

◆そのために必要な押さえしておくべき事

- ①拍節、無拍節を理解している。
- ②声の出し方が合唱（頭声発声）と民謡（地声発声）では違うことを理解している。
- ③声を伸ばしたり揺らしたりするところを理解している。

◆予想されるつまづき

- ①拍そのものの意味がわからない。忘れた。
- ②声の出し方についてよくわからない。
- ③「こぶし」をつける箇所がわからない。

◆つまづきをクリアさせるための工夫・配慮 (UD)

①について

【No. 16 スパラル化】

授業冒頭で前時の「拍にのってばかりしたリズムで進んで行くタイズ」・「拍を感じさせずに音を引きのびながら進んで行くタイズ」の違いを手拍子をするなどして振り返る。また、おの段階でも振り返って確認する。

②について

【No. 6 視覚化】

生の声で実際に歌声を聴いて理解する。アトバイスを受けながら何度も歌ってみる。

③について

【No. 13 手がかり・No. 12 共有化】

歌い方のプリントを見ながら、実際に指を回したり上下に伸ばしたりしながら歌って確認する。

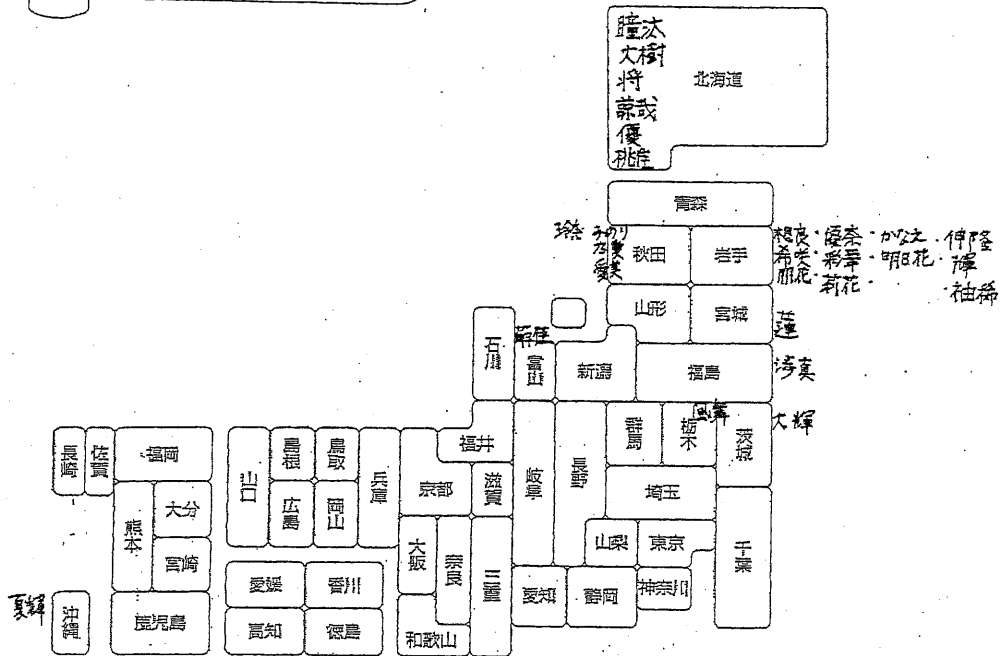
本時のUD全体構想図

日本の民謡

1年 組 番 氏名

各地方の民謡

夏休みに調べてきた民謡を発表しよう。



日本の民謡とは

日本各地に古くから私たちの生活の中にあり、労働や風習、行事などと密接に関わって生まれてきました。そして、人から人へと歌い継がれています。

民謡のいろいろなタイプ

民謡に合わせて手拍子ができる？できない？

手拍子できる曲 代表曲 北海道「ソーラン節」() 歌

手拍子できない曲 代表曲 岩手県「南部牛追い歌」() 歌

次の時間は・・・合唱の歌い方との違い発見！！民謡の歌い方の特徴は？みんなで歌うよ！

岩手の民謡「南部牛追い唄」

年	組	番	氏名
---	---	---	----

1 「南部牛追い唄」を聴いてわかったことをメモしよう。

楽器名	「声の出し方」 や 「伸ばし方」
しゃくはち 尺八	

2 漆原さんの歌を聴いていいなあと思ったところ2カ所を決めて、ペアで工夫して歌おう。

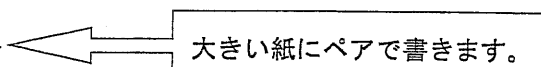
<決めた2カ所にシールをはろう。>

いなーかなー れまどまも (V)

さーハ PPP エ (V)

なんぶのオーケルはあさー (V)

3 ペアで決めた2カ所をどのように工夫しますか。わかりやすく簡単に説明しよう。

①	
②	

大きい紙にペアで書きます。

4 民謡「南部牛追い唄」の歌い方で学んだ事を記入しよう。

.....

.....

.....